



よろしくお願ひ致します。

このたび羅臼町教育委員会(以下「町教委」と略記します。)では、羅臼町の子どもたちの学びと育ちを町全体で支えていくことを願ひ、幼稚園から高校の教育現場の動きや町教委の取り組みに関する情報のほか、町民の皆様にご理解・ご協力いただきたいことなどをお知らせすることを目的としてこの情報誌を発行していくことと致しました。

人と人がつながって子どもたちの学びや教育環境を支え、子どもたちの成長に沿った学びと学びがつながり、心身ともにすこやかに成長していくことと併せ、子どもたちを支えることを通じて家庭や地域の絆が深まっていくことを願ひ「もやい」と命名しました。以後、ご愛読よろしくお願ひ申し上げます。

学力向上 学校教育における最重点課題

北海道教育委員会は、文科省が2007年度から実施している「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」の結果、北海道の児童・生徒の成績が小中学校ともに47都道府県中42位~47位と全国下位に低迷している状況を受け、「2014年度までに全国平均以上に子どもたちの学力を向上させる」という目標を掲げて様々な取り組みを行っています。

根室管内においても「学校・家庭・地域社会の総和による確かな学力の育成」を最重点とし、確かな学力を確実に保障する教育課程の工夫・改善や子どもの学習状況に応じた指導の充実、教員の指導力の向上をめざした研修内容の充実など、24年度の管内教育推進の柱を掲げています。

羅臼町では、23年度から町独自の取り組みとして道立教育研究所との連携により、教員の研修を支援する事業をスタートさせました。また、北海道教育大学釧路校の協力を得て、学生ボランティアの派遣をいただきながら、学校授業における支援員の配置やサマースクール、オースタムスクールなど、子どもたちの学習支援に努めてきています。



今年度、数学支援員として来町していただく学生ボランティアへの辞令交付式の一場面

町教委としましては、学校現場の努力を更に効果アップするためには家庭や地域の協力が必要と考えるところであり、子どもたちの規則正しい生活リズムの向上をめざしてPTA連合会が提唱する「早寝、早起き、朝ごはん」運動を支援し、家庭学習や読書活動の習慣化を定着させたいと考えておりますので、各家庭・地域をあげて取り組んでいただきますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

羅臼町PTA連合会が作成したポスター



「羅臼町幼・小・中・高一貫教育」始動!!



既にご存知のことと思いますが、本町では平成19年度より中学校から高校への学びを接続させることをねらい、中学校・高校が連携した「中・高一貫教育」を進めてまいりました。さらに今年、羅臼町教育研究会の組織改編について検討の結果、「羅臼町幼・小・中・高一貫教育研究会(右記組織図参照)」として生まれ変わることとなり、去る4月27日(金)、羅臼小学校を会場に町内のすべての幼稚園・小学校・中学校並びに羅臼高校の教職員が一堂に会した全体会が開催され、新たなスタートが切られました。

当日は、全体会の後、各部会に分かれて今後の取り組み等について熱心な話し合いが行われました。

このことにより幼稚園~小学校、小学校~中学校、中学校~高校という、羅臼町内の学びの接続を一貫して推し進める体制が整いました。今後、各園・各校の連携を今まで以上に深めながら、活発な取り組みが展開されていくことを期待するところです。

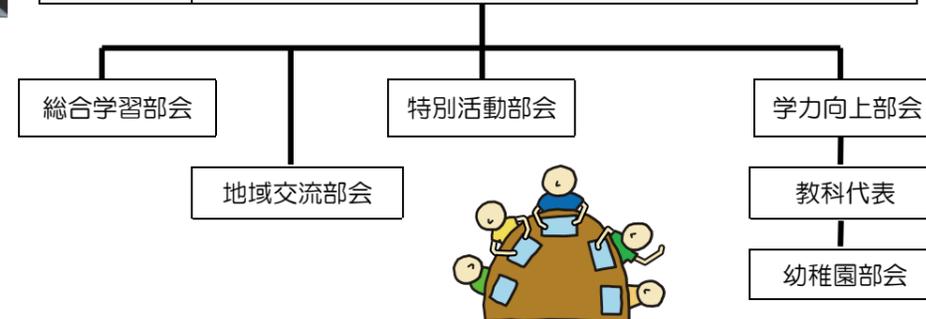
町民の皆様にも様々な場面でご支援・ご協力をお願いすることがあるかと思いますが、そのときは、絶大なご支援をよろしくお願ひ致します。

「羅臼町幼・小・中・高一貫教育研究会」組織図

羅臼町幼・小・中・高一貫教育協議会	
会長	羅臼町教育長
副会長	羅臼幼稚園長・春松小学校長・羅臼中学校長・羅臼高等学校長
理事	春松幼稚園長・羅臼小学校長・春松中学校長 中学校PTA代表・高校PTA代表
事務局	局長：羅臼中学校教頭 局次長：春松中学校教頭
会計	羅臼中学校事務職員・羅臼高校事務長
監査	春松中学校長・羅臼小学校事務職員・教育委員会学務課長

推進委員会	
委員長	羅臼中学校長
副委員長	羅臼高等学校長・羅臼小学校長・春松小学校長・春松中学校長
委員	羅臼幼稚園長・春松幼稚園長・全小中高の教頭・教育指導主幹 町教委学務課長・自然環境教育主幹・町教委社会教育課長 町保健福祉課長

事務局	
事務局長	羅臼中学校教頭
事務局次長	春松中学校教頭
事務局員	羅臼小学校教頭・春松小学校教頭・羅臼高等学校教頭 町教委教育指導主幹・町教委学務課長・町教委社会教育課長 町教委自然環境教育主幹
各校代表	各幼稚園代表・各小学校代表・各中学校代表・羅臼高等学校代表



(裏面に続く・・・もう少しお付き合いください。)

紙面がもったいないので裏面も使いましたが、ちょっと長くなりましたので、こちらでちょっとティー・タイムです。

この文章を目にしたことはありますか？

子どもたちはこうして生き方を学びます。
批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします。
敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います。
ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります。
ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります。
心が寛大な中で育った子はがまん強くなります。
はげましを受けて育った子は自信を持ちます。
ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります。
公明正大な中で育った子は正義心を持ちます。
思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます。
人に認めてもらえる中で育った子は自分を大切にします。
仲間の愛の中で育った子は世界に愛を見つけます。

作：ドロシー・ロー・ノルト
訳：吉 永 宏



・・・どうお感じになったでしょうか・・・。

私は、親や家族はもちろん、子どもたちを取り巻く周囲の大人が、子どもたちの成長について“どんな想いで、どのように子どもと向き合えばよいか”ということを理解することの大切さを教えてくれているのではないかと思います。ご参考まで・・・。

ところで・・・、町教委では昨年、子どもたちの学びの環境づくりを学校・家庭・地域が連携して進めることを願い「羅臼町学習活動支援実施要綱」を定め、次の通り学校・PTA・家庭・地域に期待する取り組みを示しました。

しかし、まだ、このことがあまり浸透していないようですので、あらためてご紹介させていただきます。

< 学校 >

- ①基礎・基本を活用する力を高め、学ぶ意欲を高める。
- ②学習習慣が身につくようにする。



< 家庭 >

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活リズムが身につくよう指導する。
- ②自分で決めた時間に勉強する習慣を身につける。
- ③家庭の仕事を分担させ、決まりやルールを教え、規範意識が高まるようにする。



< PTA >

PTAの活動を通じて・・・

- ①子どもたちの課題を共有する。
- ②協働の取り組みを創る。
- ③組織活性化と連携を深める。



< 地域 >

- ①少年団活動・部活動への協力。
- ②町内会子ども会の活性化。
- ③地域ぐるみのあいさつ運動の展開。
- ④子育て支援の連携。



町内会活動って大切!

幸い、羅臼町には町内会組織がしっかりと根付いていて、その中に子ども会や女性（婦人）部も位置付いており、子どもたちに関わる各種活動も活発に行われています。このことは、羅臼町の多くの方は当然のことと思われるかもしれませんが、他の市町村では町内会（自治会）が組織されていない、あるいは崩壊しかけているところも数多くあるようです。地域の連帯感が希薄化してきていると言われている昨今ですが、古くから根付いているこの町内会組織は、子育ての視点からもとっても大切な活動だと感じます。

ぜひ、家庭や地域・団体活動において、これらのことを気に留めて取り組んでいただければ心強く思います。

「ふるさと少年探検隊」は第30回を迎えます。

羅臼町子ども会育成協議会と町教委・公民館が共催して開催する「ふるさと少年探検隊」は、今年で第30回を迎えます。

この事業には、これまで延べ809人の子ども隊員が参加し、スタッフも延べ627人を数えます。過去に参加した子どもたちの中から、今はスタッフとして毎年遠くから足を運んでくれている方もおり、羅臼町の夏の一大イベントとなっています。

歴代の子ども会育成協議会会長をはじめ、地元子ども会の指導員の熱い情熱と地域の多くの方のみなさんの絶大なご支援によりこれまで大きな事故もなく継続されてきており、あらためてそのご尽力に敬意を表する次第です。

30回を迎える今年は、7月30日～8月4日の日程で開催が予定されており、記念となるプログラムや事業も予定されています。



「第29回ふるさと少年探検隊」より

なお、今年の参加者募集締切りは7月11日です。

「子どもたちの安全・安心 見守り」にご協力をお願いします。

昨年、児童・生徒が見知らぬ大人から声を掛けられたとの報告が多数あり、羅臼町青少年健全育成町民会議に設置の「ボランティアパトロールおおわし隊」に呼びかけ、通学時の見守り活動にご協力をいただきました。観光シーズンを迎えるにあたり、今年も「オオワシ隊」の隊員さんをはじめ、地域の皆様に日常的に子どもたちの安全・安心を見守っていただきたくご協力をお願い致します。

また、子どもたちの屋外での遊びが活発になる季節に入りました。河川や危険な場所での遊びなど、大人の目線で「危険だな！」と感じた時は、子どもたちへの声かけも重ねてお願い致します。